GSP海外実施：フランスとベルギー
学生交流・文化研修プログラム

神戸GCP：学生交流を通じて学ぶ文化と社会・フィールドワーク・後期・ベルギー・フランス

（2026年3月　実施予定）

説明会
2026.10.15（木）12:20-

テーマ：「日欧学生交流と芸術文化・社会」

協定校のブリュッセル自由大学（仏語系ULB、ベルギー）ルーヴェン大学（蘭語系KULeuven,ベルギー）グルノーブル・アルプ大学（フランス）の日本学科学生との合同セミナーを行い、英語またはフランス語（神戸大学生）、日本語（訪問校学生）での研究発表・ディスカッションや交流を行う。

ブリュッセル、パリ、グルノーブルなどでの芸術・文化施設や史跡・街、国際機関についてのフィールドワークを行い、異文化理解を深める。

研修期間の前後は春休みを利用してヨーロッパ各地で滞在をしてもよい。

【期待される効果・学習目標】

事前学習で訪問国の文化に関する知見を深め、協定大学等との合同セミナーを企画・運営することで、語学能力及びコミュニケーションの向上、さらには企画・運営などの実践力を養う。

現地では、ベルギーの多言語・多文化状況、多民族共存状況を、オランダ語圏・仏語圏各都市の訪問や、移民地区視察、ベルギーに関する国際研究会への参加などを通して体験する。

フランスでは単一公用語・中央集権国家としてベルギーとの比較をしつつ、パリ周辺の都市計画や文化政策を実地に見る。また、UNESCOなどへの訪問を通じて、国際機関による文化、社会への取組について学ぶ。いずれも各自で設定する関心テーマを意識しつつ発表や見学を行い、事後学修として考察・報告を行う。

GSP海外実施：フランスとベルギー学生交流・文化研修プログラム

【プログラム概要】

- 実施責任者：　礒谷有亮、中條健志（ともに研修期間中同行）　＋　学生TA(1名）
- 研修期間：　2026年3月14日～22日（現地集合、現地解散）
- 研修場所：　フランス、ベルギー
- 研修内容：　１）協定校との交流＝日本学科の学生との合同セミナー
  「日欧文化」をテーマとした研究発表　（事前準備あり）
  ２）フランス・ベルギーの芸術文化施設、名所などの見学
  各自の研究テーマに沿った現地視察，調査
  ３）ブリュッセルでの「グローバルネットワークフォーラム（3/13）」、
  「ヨーロッパフォラーム（3/15or16）」参加、国際研究会参加

- 募集締切：　１１月６日
- 募集対象：　国際人間科学部・国際文化学研究科の学生（学部２年次生以上）
- 募集人数：　６～10名程度

GSP海外実施：フランスとベルギー学生交流・文化研修プログラム

【費用等】

- 自己負担費用： 60万円程度

備考： ・上記費用はあくまで目安です。円ユーロのレート、
航空券や宿泊の形式や手配の仕方によって変動します。
・ 航空券、宿泊は各自手配してください （可能な限り早めの手配を推奨します）

・上記費用に研修期間前後の自由滞在分は含みません。
– 本プログラム修了者には単位が付与されます。詳細はGEMsを確認してください。
– OSSMA加入、海外旅行保険加入、外務省「たびレジ」登録

GSP海外実施：フランスとベルギー学生交流・文化研修プログラム

【申請および参加のための条件等】

1）志望動機書提出：審査あり（フランス語の学習経験は必須ではない）

GEMsから所定の様式をダウンロードして作成すること

2）3協定校での合同ゼミで行う10～15分程度のプレゼンを準備（仏、英語のいずれか）
＋合同ゼミの事前打合せ・準備

※これらの準備のために事前学習プログラムへの参加が必須です

3）帰国後に報告書提出：レポート（研修の成果、美術館博物館訪問報告など）

神戸GCP：学生交流を通じて学ぶ文化と社会・フィールドワーク

【プログラム概要】

- 実施責任者：　西川太郎（研修期間中、一部同行）
- 研修期間：　2026年3月13日～22日（現地集合、現地解散）
- 研修場所：　フランス、ベルギー
- 研修内容：　1）協定校との交流＝日本学科の学生との合同セミナー
  「日欧文化」をテーマとした研究発表　（事前準備あり）
  2）フランス・ベルギーの芸術文化施設、名所などの見学
  各自の研究テーマに沿った現地視察，調査
  3）ブリュッセルでの「グローバルネットワークフォーラム（3/13）」、
  「ヨーロッパフォラーム(3/15or16)」参加（必須）、国際研究会参加
- 募集締切：　11月6日
- 募集対象：　全学部1―6年生、全研究科大学院生（修士・博士）
- 募集人数：　6～10名程度

神戸GCP：学生交流を通じて学ぶ文化と社会・フィールドワーク

【費用等】

- 自己負担費用： 60万円程度

備考： ・上記費用はあくまで目安です。円ユーロのレート、
航空券や宿泊の形式や手配の仕方によって変動します。
－ 航空券、宿泊は各自手配 （可能な限り早めの手配を推奨します）

・上記費用に研修期間前後の自由滞在分は含みません。

－総合教養科目/教養科目（総合系）「グローバルチャレンジ実習」 2単位
※ コース実施学期末に卒業予定の学部4、6年生、大学院生：単位付与なし

－ OSSMA加入、海外旅行保険加入、外務省「たびレジ」登録

神戸GCP：学生交流を通じて学ぶ文化と社会・フィールドワーク

申請

1）志望動機書提出：審査あり　（フランス語の学習経験は必須ではない）

応募書類欄の様式を用い、志望動機書をGEMsにアップロードすること。

※授業期間の重なるGCPと併願する場合は、必ずすべての併願先の担当教員に事前に相談すること。また、授業期間の重なるGCPを同時に履修することはできない。

事務窓口：学務部　国際課　学生交流グループ

神戸GCP：学生交流を通じて学ぶ文化と社会・フィールドワーク

参加のための条件

1）事前学修

①3協定校での合同ゼミで行う10～15分程度のプレゼンを準備（仏、英語のいずれか）、
　プレゼン原稿の提出

②事前学修シートの提出、ルーブリックによる自己評価（学外学修前）

2）事後学修

①事後学修シート、学外学修日誌、成果報告レポート（日本語1200 字程度または英語 600—700語程度）の提出、ルーブリックによる自己評価（学外学修後）

②神戸GCP報告会（2027年4月を予定）での発表

3）危機管理：海外渡航前の危機管理オリエンテーションへの参加危機管理サービス及び上乗せ海外旅行保険への加入

【日程（予定）】

事前学習（参加必須）

初回：11月16日（月） 昼休み オンライン

2回目以降 11月～2月 合計5回程度

・ベルギーとフランスの歴史、社会、文化、UNESCOについて学ぶ

・合同セミナー準備：発表内容、訪問先との打合せなど

研修

2026年3月前半～ 個別に出発、滞在（自由研修）

3月 14日までに ブリュッセル入り(GSP) 3月12日までにブリュッセル入り(GCP)

3月 22日 パリで解散

＊　あくまで現時点での予定です。変更あり。

3月13/14日～17日　ベルギー滞在

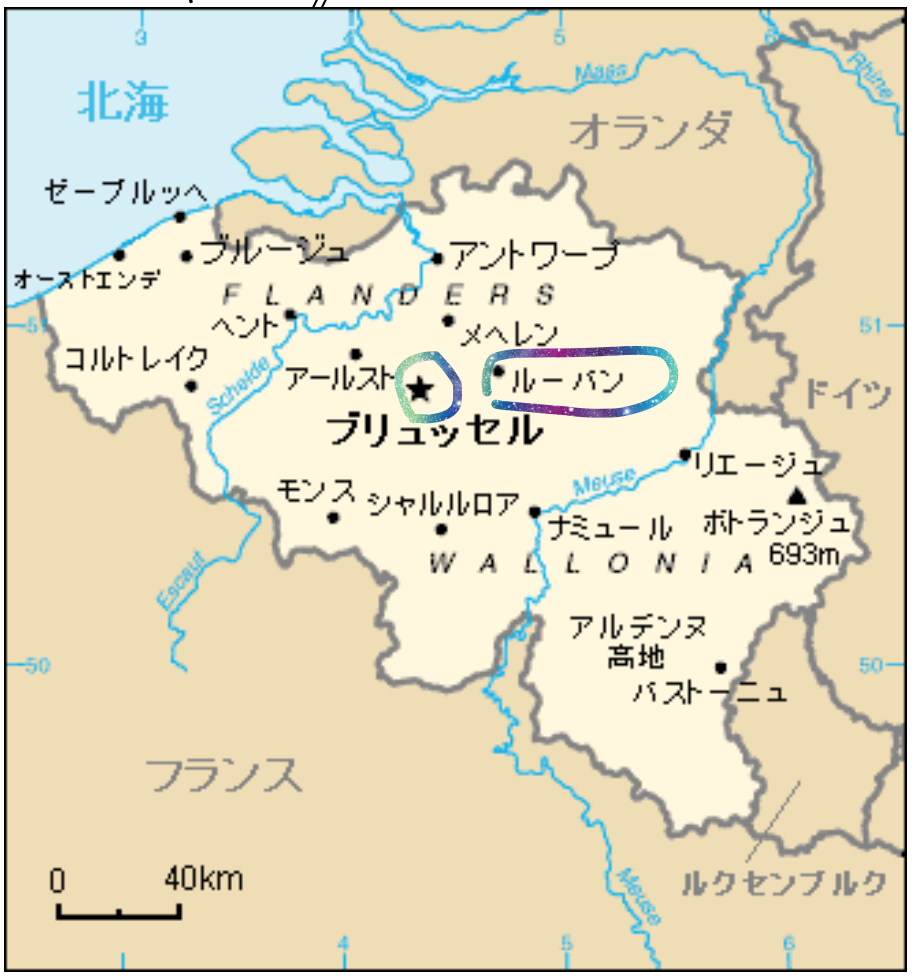
ULB、KULeuven でのセミナー、学生との交流
グローバルネットワークフォーラム、
ヨーロッパフォーラムへの参加

3月18日～22日　フランス滞在

UGAでのセミナー、学生との交流
パリ訪問（UNESCOほか）

GSP実践型海外研修プログラム、神戸GCP
《フランスとベルギー》





心構え

・引率付きツアーではない　旅行準備も含めた「研修」
・自分で考え、自主的に行動する
・自立し、かつ助け合う
・日本よりも治安は良くない：スリ、盗難に注意
・ストやデモが多い　電車は遅れる　予定通りにいかないことも
・フランス、ベルギーともウクライナ、ガザ、イランなどの情勢に敏感
・積極的にさまざまな経験を

＊GSPサイト、神戸GCPサイトで昨年の体験談など見てください。